

アイオキシニル乳剤 アクチノール B 乳剤	取扱メーカー： バイエル 原体メーカー： バイエル
成分： アイオキシニル（オクタノエート）〔PRTR・1種〕…30.0% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕……………28.4%〈21.8～34.9%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………32.9%〈26.2～39.4%〉	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- 非ホルモン接触型の除草剤で植物の茎葉から吸収され、一年生広葉雑草に除草効果を示す。
- 根からはほとんど吸収されないので土中の雑草種子や作物への影響はない。また、茎葉から吸収されても植物体内での移行性がほとんどないので雑草の幼少期に使用する必要がある。実用的な土壌処理効果はない。
- 土壤に吸着され不活性化する。また残留性は短く移動性は小さい。
- 麦類、たまねぎ、にんにくの生育中に使用できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 展着剤は加用しない。
- 加圧式噴霧機を用いて、雑草の茎葉によく付着するように散布する。
- 広葉の農作物にかからないよう注意する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 広葉雑草発生揃～6葉期に、但し、ヤエムグラは4節期まで、タネツケバナ、カラスノエンドウは2～3葉期までに散布する。
- イネ科雑草及びコニシキソウには効果が劣る。
- 散布直後に降雨が予想される時は使用をさける。
- 農作物、特に広葉の農作物の茎葉に散布液を飛散させない。
- 適用作物（麦、たまねぎ、にんにく）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（だいず、あずき、いんげんまめ、ばれいしょ）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 自動車などにかからないようにする（塗装汚染）。
- 魚類、甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- カブレやすい体質の人は取扱いに注意する。



【適用と使用方法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	アイオキシニルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
麦 類	—	一年生 広葉雑草	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	100～ 200 ml	70～ 100 ℓ	2回以内	雑草 茎葉 散布	—	2回以内
たまねぎ (秋播移植栽培)			早春期 但し収穫30日前まで (雑草生育初期)					東北、 北陸 以南	
たまねぎ (春播移植栽培)			生育期 但し収穫30日前まで (雑草生育初期)	100～ 150 ml		北海道		3回以内	
たまねぎ (直播栽培)			生育期 (たまねぎ 1葉期以降) ～倒 伏始期まで (雑草 1～2葉期まで) 但し収穫30日前まで	30～ 50 ml					
にんにく			生育期 但し収穫30日前まで (雑草生育初期)	100 ml		全面 散布	—		
樹 木 等	公 園 庭 園 堤 とう 駐 車 場 道 路 運 動 場 宅 地 のり面等	雑草生育初期	200～ 400 ml	150～ 200 ℓ	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に雑草 茎葉散布				